平成２０年９月３０日

各　　位

会　　社　　名　　株式会社ＤＴＳ
代　表　者　名　　代表取締役社長　赤羽根　靖隆
（コード番号 9682 東証第一部）
― 問　合　せ　先 ―
取締役ｺｰﾎﾟﾚｰﾄｽﾀｯﾌ本部長　栗原　広史
（TEL. 03 － 3437 － 7522）

「平成 21 年３月期業績予想の修正に関するお知らせ」の一部訂正について

平成 20 年９月 29 日に発表いたしました「平成 21 年３月期業績予想の修正に関するお知らせ」に一部誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。

なお、訂正後の「平成 21 年３月期業績予想の修正に関するお知らせ」の全文を添付しております。

記

【訂正箇所】

ｐ１　１．業績予想の修正

(1) 平成 21 年３月期第２四半期累計期間業績予想数値の修正（平成 20 年４月１日～平成 20 年９月 30 日）

（単独）　前期（平成 20 年３月期中間期）実績の売上高

【訂正前】

（単独）　　前期（平成 20 年３月期中間期）実績　売上高　17,649 百万円

【訂正後】

（単独）　　前期（平成 20 年３月期中間期）実績　売上高　18,749 百万円

平成２０年９月２９日

各　　位

会　　社　　名　　株式会社ＤＴＳ
代　表　者　名　　代表取締役社長　赤羽根　靖隆
（コード番号 9682 東証第一部）
― 問　合　せ　先 ―
取締役ｺｰﾎﾟﾚｰﾄｽﾀｯﾌ本部長　栗原　広史
（TEL. 03 － 3437 － 7522）

平成 21 年３月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 20 年５月 15 日に公表いたしました平成 21 年３月期第２四半期累計期間、通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

１．業績予想の修正

(1) 平成 21 年３月期第２四半期累計期間業績予想数値の修正（平成 20 年４月１日～平成 20 年９月 30 日）

（連結）　　（単位：百万円）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前 回 発 表 予 想（A） （平成 20 年５月 15 日発表）	29,800	2,310	2,374	1,232
今 回 修 正 予 想（B）	29,800	1,660	1,750	690
増　　減　　額（B－A）	0	△650	△624	△542
増　　減　　率（%）	0.0%	△28.1%	△26.3%	△44.0%
前期（平成 20 年３月期中間期）実績	28,984	2,240	2,281	1,226

（単独）　　（単位：百万円）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前 回 発 表 予 想（A） （平成 20 年５月 15 日発表）	19,600	1,980	2,147	1,304
今 回 修 正 予 想（B）	19,200	1,440	1,660	870
増　　減　　額（B－A）	△400	△540	△487	△434
増　　減　　率（%）	△2.0%	△27.3%	△22.7%	△33.3%
前期（平成 20 年３月期中間期）実績	18,749	1,931	2,124	1,289

(2) 平成 21 年３月期通期業績予想数値の修正（平成 20 年４月１日～平成 21 年３月 31 日）

（連結）　（単位：百万円）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前 回 発 表 予 想（A） （平成 20 年５月 15 日発表）	65,700	6,300	6,360	3,342
今 回 修 正 予 想（B）	64,000	5,000	5,100	2,500
増　　減　　額（B－A）	△1,700	△1,300	△1,260	△842
増　　減　　率（%）	△2.6%	△20.6%	△19.8%	△25.2%
前期（平成 20 年３月期）実績	61,801	5,598	5,634	2,941

（参考）１株当たり予想当期純利益（通期）　102 円 34 銭

（単独）　（単位：百万円）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前 回 発 表 予 想（A） （平成 20 年５月 15 日発表）	43,700	5,250	5,437	3,207
今 回 修 正 予 想（B）	42,200	4,250	4,500	2,550
増　　減　　額（B－A）	△1,500	△1,000	△937	△657
増　　減　　率（%）	△3.4%	△19.0%	△17.2%	△20.5%
前期（平成 20 年３月期）実績	40,839	4,717	4,939	2,865

（参考）１株当たり予想当期純利益（通期）　104 円 39 銭

２．修正理由

当第２四半期累計期間においては、景気の減速から、お客さまのＩＴ投資に対する姿勢が一層慎重になり、特定の開発案件の延期や契約締結に至る期間の長期化などが発生しております。また、当期下期においてもシステムエンジニアリングサービス全般の需要は軟調に推移することが予想されております。このため、売上高につきましては、当初想定していた金融業向けの受注減少を他の業種にてカバーするまでには至らず、当初予想より下回ると見込んでおります。

営業利益、経常利益につきましては、売上高の減少および、中期総合計画の主眼であるＳＩ体制の確立や新規事業基盤の確立など、将来に備えた戦略的な投資を継続するため、当初予想より下回ると見込んでおります。また、当期純利益につきましては、経常利益の低下に加え、子会社事業の全部譲受に伴う特別損失の影響などを織り込み、当初予想より下回ると見込んでおります。この結果、平成 20 年５月 15 日に公表しました平成 21 年３月期第２四半期累計期間および通期の業績予想を連結、単独とも修正いたします。

(注)上記の予想は、現在入手可能な情報に基づき作成しており、リスクや不確定な要因が含まれております。したがいまして、実際の業績は、様々な要因により予想とは異なる結果となり得ることがありますのでご了承願います。

以上